

海水中の石油、カドミウム、水銀などの分析

資料名	海洋汚染調査報告第 35 号
調査主体	海上保安庁海洋情報部
評価項目	4 . 遺産地域内海域における海洋生態系の保全と持続的な水産資源利用による安定的な漁業が両立されていること
管理目標	生態系に重大な影響を及ぼす汚染物質の影響回避
モニタリング項目	海洋汚染調査
評価指標	汚染物質濃度
評価基準	基準値以下の濃度であること

<平成 20 年度までの具体的調査手法>

オホーツク海の調査で採取した海水及び海底堆積物の石油、P C B , 重金属等を分析

<平成 20 年度までの具体的調査データ>

オホーツク海域の海水調査結果

(単位 : $\mu\text{g/L}$)

	平成 19 年(2007)			過去の平均、最小及び最大値 (平成 10 ~ 18 年)			基準値
	平均値	最小値	最大値	平均値	最小値	最大値	
石油	<0.05	<0.05	<0.05	0.08	<0.05	0.30	-
カドミウム	0.023	0.019	0.029	0.029	0.004	0.065	10.00
水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0011	<0.0005	0.0045	0.5

オホーツク海域の海底堆積物調査結果

(単位 : $\mu\text{g/g-dry}$)

	平成 19 年(2007)		過去の最小及び最大値 (平成 10 ~ 18 年)		基準値
	最小値	最大値	最小値	最大値	
石油	0.4	6.8	<0.1	10.0	なし
PCB	0.0004	0.0064	0.0002	0.0078	
カドミウム	0.013	0.088	0.004	0.100	
水銀	0.037	0.072	0.030	0.093	
銅	20	33	17	38	
亜鉛	50	98	43	98	
クロム	130	140	68	236	
鉛	11	20	12	22	

<コメント>

表面海水は、すべての項目とも、過去 3 ヶ年と比較して低い濃度レベルで推移している。

海底堆積物は、すべての項目とも、過去 3 ヶ年と比較しほぼ同じ濃度レベルで推移している。

<評価>

基準値以下の濃度である。